

小中学校の休業に当たって（４月９日）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、３月２日（月）から休業となり、１か月強が過ぎました。

今年の冬は暖かかったためか、五条川の桜はいつもの年より早くいつもどおりきれいな花を見せてくれましたが、いつもとは違う、とても寂しい雰囲気でありました。

この１か月間、児童、生徒の皆さんは、どのように過ごしたのでしょうか。

保護者や教職員、児童クラブや児童センター等、多くの関係者の皆様方に多大なるご心配とご苦勞をお掛けしたことに改めてお詫びし、あわせて感謝いたします。

３月２４日（火）に文部科学省から、新学期に向けた指針が示されました。

この感染症への懸念が決して薄らいだわけではありませんが、その傾向や対策が少し見えてきたこと、小中学校の休業という措置は、児童、生徒を始め多くの皆様にもあまりにも大きな影響を及ぼすことを勘案した上での決断であったろうと受け止めたところです。

さらに、４月当初には専門家会議において「子どもは地域で感染を拡大する役割を担っていない」といった報告もありましたが、これは、３月当初からの学校休業の成果との推測があり、この一週間ほどの間に判明した感染事例の中に、感染経路不明の増加が著しいことは、従来から指摘されていた、行動範囲が広い方による感染拡大の懸念が現実のこととなっていると危惧してきたところです。

こうした中、本町においては、

- ・都市部等とは異なり、感染者等が確認されていない状況である
- ・通学範囲やその方法も、３つの密「密閉・密集・密接」を避けやすい
- ・新学期（年度当初）は児童、生徒にとって、友達や担任の先生と出会う、新たな１年を始める重要な時期である

という状況であることから、ご家庭及び学校において可能な限りの感染予防対策を講じて学校を再開する、ぎりぎりの判断をしていたところです。

しかしながら４月６日（月）朝、愛知県教育委員会から、次のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る臨時休業措置について緊急依頼がありました。

- １ 令和２年４月７日（火）から４月１９日（日）までを臨時休業とする
- ２ 入学式は、感染予防のための措置や式典の簡素化など、万全の対応をとった上で実施する
- ３ 始業式は、式典としては行わず、登校日として年度初めの諸準備等を行う

児童、生徒、保護者の皆様は、感染症への懸念がありながらもその一方で、新学期の始まり、待ちに待った日が来たと思われたことでしょう。

教職員の皆様にも、大切な児童生徒の皆さんにウイルスを移してはいけないという重圧を背負いながら、新学期への準備に取り組んで頂いたことと思います。

そのような気持ちを察すると、やりきれない気持ちでいっぱいではありますが、私達にできることは、一人一人が感染症の拡大予防に心がけ、その終息への道筋をつかみとることです。

ご家庭におかれましては、大変なご苦勞をお掛けしますが、3つの密「密閉・密集・密接」を避け、不要不急の外出を控えて、お子様の健康にいらっしゃるご配慮をお願いします。

地域の皆様、子ども達は学校休業という大きな制約を受けて日々を過ごしています。公園等で遊ぶ姿を見かけてもぜひ、温かい目で見守ってくださることをお願いいたします。

教職員の皆さんにおかれましては、再び休業という事態となり、さらなる混乱、ご苦勞をお掛けすることになりますが、児童生徒の学習支援等にご尽力くださるようお願いいたします。

児童クラブの運営に関わっている関係者の皆さん、新たな混乱の中で、児童の受け入れに向けいち早く協議を始め奔走し、迅速に受け入れを実現して頂いたことに敬意を表します。

引き続きご苦勞をお掛けしますが、よろしくお願いいたします。

このウイルスとの戦いは刻々と状況が変わります。治療方法等がある程度、確立されるまで感染拡大は続く可能性があること、それが長期に及ぶことを覚悟しなければならないのかもしれませんが、まさに国難の時であります。

それでも今、私たちの心の中には、これまでの暮らしが決して当たり前ではなかったことや、感謝の念が今まで以上に大きくなっているのではないのでしょうか。

歴史を紐解けば、私たちの先人は災害や病気等、こうした時を経て様々なことを学び、乗り越え知恵を授かって来ています。

私たちの国には「勤勉と努力」という精神が脈々と受け継がれており、この危機を必ずや乗り越えられるはずです。

児童生徒の皆さんの歓声が、校舎や運動場で聞かれる日が一日も早く訪れるよう、皆で団結しようではありませんか。

なお、低学年のお子様の保護者の方におかれましてはぜひお子様に、これらのことをお伝え願えればと思います。よろしくお願いいたします。

令和2年4月9日

大口町教育委員会教育長 長屋 孝成